

# 旅行業に進出するとともに 株式会社塩谷組を設立 —— 1999(平成11)年

1996(平成8)年8月に一般貸切旅客自動車運送事業(限定)免許を、1998(平成10)年1月には一般貸切旅客自動車運送事業(中型)免許を取得し、その翌月には旅行業(兵庫県知事)登録の認可を受けて、高砂バスツーリストとして新たに旅行業に参画した。一方、1999(平成11)年には、拡大する運送事業の専門会社として(株)塩谷組を設立した。全国的な配送体制を確立するとともに、自社倉庫を活用して保管から荷造り・出荷・2次加工まで物流ニーズ全般に対応する体制を整えた。なお、2002(平成14)年には旅行業事業(高砂バスツーリスト)を(株)塩谷組に移管し、人貨双方の輸送機能の集約化を図っている。



運行を開始した貸切バス



(株)塩谷組・高砂バスツーリスト事務所



本社倉庫前で出番を待つトラック





ISO認証取得記念碑



滝野高倉温泉新築工事(現「ほかぼ」)



真浄寺庫裡及び附属建物新築工事

1990年代に入ると、高度な品質保証によって社会的信用力を高めることを主目的として、日本でも品質管理の国際標準規格ISO9000マネジメントシステムの認証を取得する企業が相次ぐようになった。当社でも建設業務全般を対象としてISO9002の認証を申請し、厳しい審査基準をクリアして2000（平成12）年11月に取得した。2年後には、基準変更にともなってISO9001に移行している。さらに2005（平成17）年9月には、旭硝子（株）高砂工場での構内作業を除く全社全部門を対象に、環境保全の国際標準規格であるISO14001の認証を取得、環境面でも全社的な取り組みを行うことになった。

## 品質と環境のISO認証を相次いで取得

—— 2000（平成12）年





2003 (平成15) 年4月、厳しい経済情勢が続くなかで塩谷宏平が社長に就任、新たな経営の舵取りを託されることになった。この年10月、カーサービスとボデー製作の高砂産業(株)、運送事業と旅行業事業の(株)塩谷組の両社を吸収合併するなど、思いきった経営合理化に踏み切った。さらに同年12月には、旭硝子(株)船橋工場がブラウン管硝子事業から完全撤退したのにもって、23年にわたって東西間の物流の一角を担ってきた船橋支店を閉鎖した。こうして組織機構を大幅に改編し、大胆な経営合理化を推進する一方、次なる発展を図るべく新たな事業展開を目指すことになった。



第四代社長 塩谷 宏平

## 塩谷宏平が社長に就任し 経営刷新を断行 —— 2003(平成15)年

(仮称)シートレジャー東加古川新築工事



沖浜平津線街路整備工事(南側工区)





ナイスカッター（電鍍レンガ用砂型の元型となるスチロールの製作）

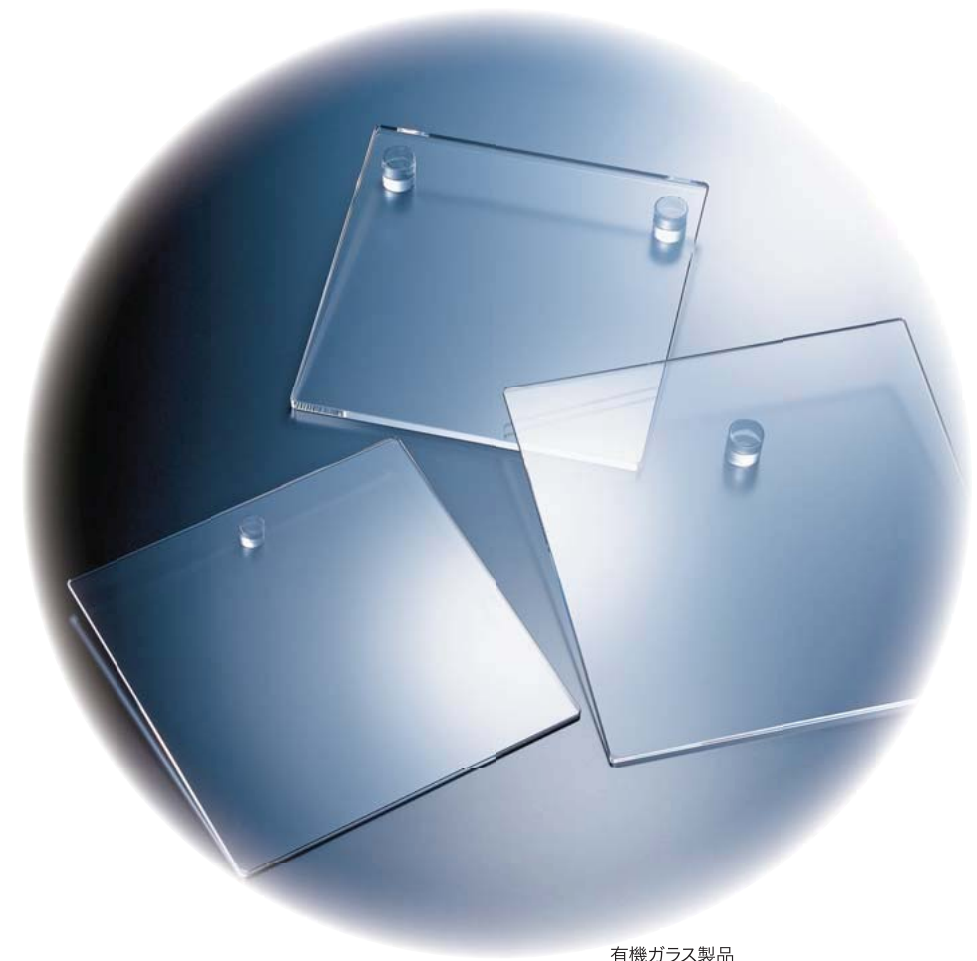
# 人材派遣事業を本格化し請負先を拡大

—— 2005（平成17）年

2003（平成15）年9月、一般労働者派遣事業許可を取得し、その1年後には人材派遣業のグローバルワーカー（株）および（有）大雄インダストリーの営業権を譲受。2005（平成17）年には有料職業紹介事業の許可も得て、本格的な人材派遣事業への取り組みを開始した。以後、（株）ニチリン、住友金属鉱山（株）播磨事業所、川崎重工業（株）播州工場および明石工場、三菱重工業（株）高砂製作所など次々と業務請負先を拡大していった。旭硝子（株）高砂工場でも、ブラウン管ガラス生産の完全停止の後を受けて2006（平成18）年4月、液晶ディスプレイなどのFPD（フラット・パネル・ディスプレイ）ガラス研磨（IP）ラインの工程構内作業を請負うことになった。



本社倉庫内でのブラウン管ガラス検査作業



有機ガラス製品



# 株式会社エスタックを設立し 持株会社を発足 ―― 2006(平成18)年

厳しい経営環境を乗り越え、さらなる発展を期するため、2006(平成18)年11月、持株会社である塩谷ホールディングス㈱を設立した。これにより、関係会社も含むすべての事業を統括し、特定事業にとらわれることなく、トータルな顧客開拓および利益を追求する体制を確立した。これに先立つ4月、人材派遣専門会社として(株)エスタックを設立し、2008(平成20)年1月には塩谷運輸建設㈱が展開する一般労働者派遣事業の一部を同社に移管した。以後、主要な大手取引先を除く一般企業向け労働者派遣業務を担当し、積極的な新規取引先の開拓に取り組んでいる。



(株)コタニ 加西南産業団地工場新築工事



社会福祉法人 天理滝野愛児園改築工事



タカサゴボデー



(株)エスタック 全景



# 建設部門を担う塩谷建設株式会社を設立

—— 2010(平成22)年



ISO 14001および9001認証を更新

旭硝子(株)高砂工場関連の建設土木事業からスタートした建設部門は、1970年代半ばから公共工事を手がけるようになり、1998(平成10)年頃からは民間工事にも積極的に進出するなど、時代の変遷に応じて柔軟に対応してきた。2008(平成20)年、公共工事が激減したことから建設部門の営業拠点である加西支店に続き神戸支店、姫路支店を閉鎖した。一方、2010(平成22)年11月には専門企業として塩谷建設(株)を設立した。その翌年1月には塩谷運輸建設(株)の建設部門および一級建築士事務所を分割承継し、旧(株)塩谷組の社屋で営業を開始、新たな体制のもとで積極的な攻めの営業を展開している。



塩谷建設(株)全景



清水坂トンネル建設工事現場



(仮称)三木斎場建設事業 斎場建築工事



キュービット保育園増築工事